

大阪工研協会「第 76 回 工業技術賞」を受賞

当社の開発したバイオ可塑剤「TBIO+(ティビオプラス)[®](※)」が、一般社団法人大阪工研協会の「第 76 回 工業技術賞」を受賞いたしました。



TBIO+[®]は、バイオマス原料を使用し当社独自のエステル化技術で生み出された生分解性可塑剤で、耐ブリード性や可塑性に優れています。バイオマス原料の使用に加え、生分解性を有することで、環境負荷の低減に寄与します。

近年、マイクロプラスチックによる海洋汚染問題等への対策として、ポリ乳酸など生分解性樹脂が市場に展開され始めています。当社ではこれら生分解性樹脂に使用される可塑剤に生分解性を付与した製品開発を行うなど、より環境に配慮した製品の社会実装に取り組んでおります、今回の受賞は、こうした分野に向けた材料技術の展開が評価されたものです。

【※TBIO+ 命名の由来】

T : 田岡と Terra(地球)の掛け合わせ、田岡化学と地球環境、自然との調和、貢献を示唆

BIO : 生分解性であること

+(プラス) : Plasticizer 生分解性プラスチックに加える(性能をプラスする)

[当社可塑剤の情報についてはこちら](#)

[バイオ可塑剤「TBIO+\(ティビオプラス\)[®]」へのお問い合わせはこちら](#)

[大阪工研協会「工業技術賞」についてはこちら](#)

【生分解性・バイオマス可塑剤の概要】

